

私のAction！！

“考える”から“実践”へ！ 一歩踏み出し行動してみよう！

職名（ 事務主査 ）

経験年数（ 29年目 ）

～「学びの環境整備」を意識した校務運営への関わりを目指して～



私は“子どもたちのために”

学習環境を整えたい

“思い”

なぜそう思ったのか
特別支援コーディネーター担当者より、学校ユニバーサルデザインとして、黒板両脇の掲示板を覆うようなカーテンのようなものを取り付けたいと相談を受けた。掲示板の掲示物が授業の集中を削ぐとの理由からだった。授業に役立つのなら試しに一緒にやってみたいと感じた。

“未来予想図”

行動することで、どのような未来や子どもの姿を想像するか
授業に集中できる環境を整えることができれば、素敵だな。カーテンの設置一つの工夫で、子供たちのまなぶ意識が変わるなんてすごいこと

をやってみる！

そのためには…？どう“コーディネート”する？

予算的にもすぐに全教室ということは難しいため、特別支援コーディネーター担当に、試験的に設置したい教室を上げてもらう。教室の下見、それから、設置個所の採寸を一緒に行う。カーテンレールの手配は事務職員が行う。使用できるカーテンは自校になかったため、他校の改修工事等で不要になったカーテンを引き取り、黒板横の掲示板の大きさに裁断、家庭科主任からミシンを借用し裁縫を事務職員が行う。カーテンレールの設置には、学年の技術科・教室担任・コーディネーターの力をかりて設置した。個別の課題の多い生徒に対するアクション。しかし、ユニバーサルデザインの考え方から、課題のある生徒だけでなく、全生徒に向けての動きなので、学校全体の動きへ校内特別支援委員と一緒に学校全体の課題ととらえ取り組みたい。

目標達成に向けて、必要な力とは？ [【人材育成指標を確認！！】](#)

実務能力。課題を意識し、解決までの道のりを大まかに描くこと。今回は試験的な取り組みとして始まったことだが、全クラスに設置を目指し予算面についても来年予算要望に加えた。

参考例：滋賀県公立小中学校事務職員の職階に応じた人材育成指標